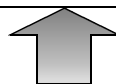


平成26年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
・道徳教育、言語活動を通して学び続ける子どもの育成。 ・課題解決的・体験的な活動を重視し、個々の個性や能力を生かした指導。 ・発展的な学習・補充的な学習の開発。 ・交換授業や協力授業。	・1,2年生の国語・算数、3年生の算数におけるT.T指導。 ・全学年特色ある教育活動の継続・発展 ・授業時数の確保（標準時数＋52時間以上） ・土曜授業の有効活用。	・校内研究では、「生きる力の育成～知・徳・体の充実～」を主題とし、国語・道徳・体育の授業力の向上を図る。 ・授業実践を中心に個々の指導力を高める研修をする。	・一人一人のよさや伸びの評価（画一的でない評価の物差しを用意） ・評価したら指導に生かす評価活動のサイクルを重視。 ・学校評議員等、外部指導を生かした改善。	・年間3回の学校公開、および2回の保護者会前の授業参観を実施。 ・学校公開の保護者の感想や関係者評価などを授業改善に活用。 ・道徳授業地区公開講座の実施。	・年間1回、6年生児童による中学校訪問を実施。 ・中学校教諭への授業公開と研究協議会の実施。